

あい・あい

(愛・会・合・相)



ボランティアしたい人、
している人を
サポートします！

ボランティアの味方

ボランティアするならここ♪

稲沢市社会福祉協議会
ボランティアセンター

■ボランティアセンターの役割

●ボランティアをつなぐ

ボランティア活動をしたい人やボランティア
に来てほしい人から相談を受け、ボランティ
アのコーディネートを行っています！

●ボランティア情報の発信！

本誌ボランティア・市民活動だより
「あい・あい」やホームページ・Eメー
ル、窓口などをとおしてボランティア
に関する情報をお届けしています！

●ボランティアに関する学びの場の提供！

ボランティアに関する講座を実施し
ています！

●ボランティア団体支援！

ボランティア団体の結成や運営又は
NPO法人認証手続きに関すること

の相談や活動に必要な設備や資機材
の貸し出し、助成金の交付などの支援
を行っています！

●交流の場の提供！

情報交換や仲間づくりの場の提供と
して、ボランティア・市民活動連絡会
やボランティアフェスティバルなど
を開催しています！

●ボランティア活動保険の受付

ボランティア活動保険への加入をす
めています！

(イラスト 夫馬)

発行 社会福祉法人 稲沢市社会福祉協議会ボランティアセンター

〒492-8218 稲沢市西町三丁目10番24号 社会福祉会館内 TEL (0587) 23-6713 FAX (0587) 33-4666

E-mail volo-info@inazawa-shakyo.or.jp ホームページで読める!! 「あい・あい」 <http://www.inazawa-shakyo.or.jp>

稲沢市社会福祉協議会

検索

西尾張ブロックボランティア フェスティバル in 岩倉市

「高めよう地域力」をテーマに講演会と分科会

1月30日(日)、西尾張ブロックボランティアフェスティバルを岩倉市総合体育文化センター及び岩倉市ふれあいセンターで開催しました。

主催は、西尾張ブロックボランティアフェスティバル推進委員会及び西尾張ブロック14市町村社会福祉協議会。

同フェスティバルは「高めよう地域力」を主催テーマとして、同朋大学社会福祉学部社会福祉学科教授である伊東眞理子氏の「エイレス社会を求めて～年齢を重ねることに成功する～」と題した講演会と4つの分科会を催し、多くのボランティア・NPO関係者などが集いました。

来年度、同フェスティバルは愛西市で開催する予定です。

稲沢市民病院ボランティア“あんり”

市民サービスの向上と地域に開かれた信頼される病院を目指して職員のパートナーとして活動しています。主な活動内容は外来診療科などの案内や高齢者、身体障がい者、視聴覚障がい者、車いす利用者などの介助などをさせていただいています。

その他、稲沢高校のご協力により中庭花壇の整備美化活動にも取り組んでいます。少しでも患者さんの癒しになればとの想いで花壇の除草、散水などの維持管理を実施しています。

(記事 村松)

「市民病院ボランティアを募集しています」
あなたの善意の心を活かしてみませんか！
問合先：0900-8474-3952(村松)



(写真 小島)



フェスティバルの一部運営を担った稲沢市のボランティア



伊東眞理子氏による講演の様子

★きらり、いのへ★

ボランティア・インタビュー

個人ボランティアの友利賢治さん

「地域に恩返しをしたい」

今回は、稲沢市社協ボランティアセンターに個人登録している友利賢治さん(71)を紹介します。

友利さんは、市内小中学校に出向いて子どもたちに福祉について教える「福祉実践教室」(稲沢市社協主催)の手伝いを約9年間にわたり行っています。

手伝いの内容は、主に授業で使う車いすの搬入出や車いすを利用している講師のサポートです。

友利さんの口ぐろから抱いていた「地域に恩返しをしたい」という想いがボランティア活動を行うきっかけになりました。以後、活動を「嫌だ」とか「辞めたい」と思ったことは一度もないそうです。「みんな、心やさしい人ばかりで、いつも和気あいあいとしている。自然と(ボランティア活動を)続けることができた」「人の素晴らしさを思い知らされた」と今までの活動を振り返り語ってくれました。

人と人が出会うことの素晴らしさを感じながら、楽しんで活動が続ける友利さん。これからの更なる活躍が期待されます。

◆友利賢治さん プロフィール

主な活動実績：

福祉実践教室サポーター、
民生委員児童委員(1期)
など

趣味：ソフトボール



3で遊ぼう！



(作 松川)



青空手話サークルのクリスマス会

講師の寸劇に会員ら拍手喝さい

12月10日(金)、社会福祉会館で青空手話サークルのクリスマス会が催されました。会では、講師らが手話を用いて「ウサギとカメ」をモチーフにしたユーモア溢れる寸劇を手話で披露。観客であるサークル会員らは皆、拍手喝さい。大盛り上がりでした。

連載

収集ボランティア活動

ここがポイント！

収集ボランティア活動は、

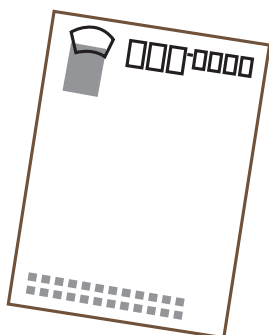
- ★収集目的 ★収集後の送付先
 - ★収集方法 ★収集後の活用のされ方
- を事前に調べてから始めよう！



書き損じハガキ

稲沢市社会福祉協議会では、お持ちいただいた書き損じハガキを市内障がい者団体へ寄贈しています。

障がい者団体では、それらを日本郵便で切手などに交換し、活動の一助として使用しています。



ありがとうございました。(敬称略)

(平成22年8月3日～平成23年1月31日受付分)



【使用済み切手】 2,925g
(寄贈先：誕生日ありがとう運動本部(神戸市))

・匿名	535g	・山本	85g
・馬場善之丞	695g	・太極拳菊の会	330g
・上田とく	150g	・水谷八重	1,050g
・磯野美代子	30g	・吉田不二子	50g

【使用済みカード】 284枚
(寄贈先：誕生日ありがとう運動本部(神戸市))

・匿名	40枚	・山本	76枚
・回精会 北津島病院	168枚		

【アルミ缶(プルタブ)】 32.27kg
(寄贈先：NPO法人たんぽぽハウス(稲沢市))

・回精会 北津島病院	13kg	・小正小学校児童会	8kg
・水谷八重	6kg	・匿名	1.77kg
・箕浦律子	3.5kg		

【書き損じハガキ】 10枚
(寄贈先：NPO法人たんぽぽハウス(稲沢市))

・馬場善之丞	10枚
--------	-----

イラスト 松川



募集掲示板

ご意見などを募集しています！

本誌「あいあい」やボランティアに関するご意見ご要望などを郵送又はEメールにて募集しています。

募集元	内容	日時・回数	場所	問合先
稲沢市社会福祉協議会 ボランティアセンター	本誌、ボランティア・市民活動だより「あいあい」の作成協力者を募集しています。	適宜	取材先・自宅など	稲沢市社会福祉協議会 ボランティアセンター 0587-23-6713
	子どもたち（小学生・中学生）が取り組む福祉活動をサポートしてくれる高校生以上の学生サポーターを募集しています。	月に2回程度	社会福祉会館	

(イラスト 夫馬)

ボラメール配信 ～ボランティアに関する情報が手軽に分かる～

ボランティア活動に関する情報をメール配信しています。

メール情報配信の登録を希望する場合は件名を「ボラメール」とし、本文に「氏名」、「住所」、「電話番号」を入力の上、

vol-info@inazawa-shakyo.or.jp

までご送信ください。



- 1 盲導犬 2 聴導犬 3 介助犬
- A 身体の不自由な人の手助けをする犬
B 耳の不自由な人の手助けをする犬
C 目の不自由な人の手助けをする犬

次のA～Cの障がいがあるかたの手助けをする犬は何犬でしょうか？
それぞれ左の1～3より選んでください。

学生ボランティア
山田ちさとが出題！
福祉クイズ！

重要!! ボランティア保険について!!

保険法の改正により、従来、4月20日までに保険加入手続きを完了すれば4月1日に遡って補償の対象としていましたが、平成23年度からはその適用がなくなります。

よって、4月1日からの活動を補償する場合は、3月31日までに加入手続きを完了する必要がありますのでご注意くださいとともに、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

★ボランティア活動保険★

国内におけるボランティア活動中の偶然な事故により、次の2つの補償をセットにした保険です。

- ① ボランティア自身がケガをした場合の「傷害保険」
- ② ボランティア自身が他人にケガをさせたり、他人の物を壊したことにより、法律上の賠償責任を負った場合の「賠償事故」

補償内容、加入対象などの詳細は、ボランティアセンターまでお問い合わせください。

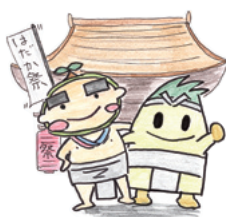
【1=C 2=B 3=A 正解】

まちの魅力発見



2月15日の国府宮はだか祭りの風景。国府宮神社の参道では、威勢よく声を張り上げる裸男たちと見物者で賑わっていました。

(写真 小島)



(イラスト 松川)

一年間の町内会長も終わり、貴重な体験をさせてもらいました。赤ちゃんから100歳近いかたの生活の場であり、諸々の考えの持ち主、家庭環境のかたが、町内会という地域社会の中でそれぞれの役割を担っている。年齢、家庭環境により、役割を担うのが困難な人もみえるが、ボランティアの人が手助けしてくれて、感謝の気持ちでいっぱいである。特に定年されたかたは、手のすいている時間に、今まで経験されて身についているノウハウを、身近な場所で活かして欲しいと願います。そんな和が広がれば、皆の輪もでき、住み良い町になると思います。

(村上)

編集委員の声

(村松)